



縁結びのまち、平塚へ  
少子化対策待ったなし

野崎 審也 議員

### 結婚を望む人への支援

**問** 10年前と比較した本市の出生数と婚姻数の推移を伺う。

**企画政策部長** 出生数は平成26年は1819人だったが、令和5年は1326人で493人減少している。婚姻数は平成26年は1151組だったが、令和3年は851組で300組の減少である。

**問** 本市の結婚支援について見解を伺う。

**企画政策部長** 支援については、経済的支援や仕事と子育ての両立支援などを継続し、結婚を希望する人への後押しができる環境を整え、庁内横断的な会議で、結婚支援の取り組み拡大を検討していく。

**問** 若者への経済的支援も重要と考えるがいかがか。

**企画政策部長** 現在国では就労者の収入増加対策として、キャリアアップ助成金や賃上げ促進税制などにより従業員の正社員化や賃金引上げに対する支援を行っている。また本市では、青少年奨学金返還支援を行っているほか、賃上げに取り組む事業者に対し奨励金による支援を行っている。引き続き国の動向を注視し、制度の更なる活用に向けた周知を行っていく。

**問** 今年の七夕まつりでは大手結婚相談所が縁結びパーティーを企画したが本市の見解を伺う。

**企画政策部長** 総合計画でも「希望する結婚・妊娠・出産がかなう」と位置づけており、官民連携による総合計画の推進も考え方としてあるため、民間団体が縁結びで結婚の機会を設けるのはいいことだと捉えている。

**問** 婚活に対する市長の考えを伺う。

**市長** 市としての公的な場での出会いの場をつくることは難しいと思うが、例えば観光を絡めるなど、社会を巻き込んで機会を作り、進めていきたい。

### 町内福祉村新規開設

**問** 町内福祉村の未設置地区への新規開設に向けた市の考え方を伺う。

**福祉部長** 積極的に地域と関わり、課題などを共有し、それぞれの地域に合った町内福祉村の設置を進めていきたい。

### びわ青少年の家

**問** びわ青少年の家の利用対象を広げるなど、今後の施設の構想について伺う。

**健康・こども部長** これまで青少年団体や10人以上の団体などとしていた利用対象者から、家族連れでも楽しめるよう、制限の緩和や法や、既存施設を含めたびわ青少年の家の魅力をさらに高める再整備の検討をしている。

### 世界的な異常気象 金目川水系は安心か

**問** 県が進めている金目川水系の河川整備の進捗状況と今後の進め方を伺う。

**土木部長** 金目川水系は河川管理者である県により整備が進められており、現在唐ヶ原地区の花水川橋上流右岸で河川拡幅のための護岸工事を、令和7年3月の完成に向け進めているほか、片岡地区などでも護岸工事を実施する予定である。河内川では下河原橋から神明橋までの右岸側での護岸改修工事が本年3月で完了し、今後は左岸側で同様の工事を進めていくと聞いている。

## 1面掲載写真を募集しています

市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、市内を撮影した四季折々の風景など、平塚市の魅力あふれる写真を募集しています。

今回は、第234号（令和6年11月1日発行予定）に掲載する写真を募集します。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。議会局までお問い合わせください。（議会局 ☎21-8791）



### 清風クラブ 所属議員



坂間 正昭 議長



佐藤 貴子 議員



諸伏 清児 議員



須藤 量久 議員



黒部 栄三 議員

## 常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

### 総務経済

議案2案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

#### ○議案第53号 令和6年度平塚市一般会計補正予算

**問** 防災対策費の災害情報伝達事業について、防災ラジオの配付数増加による増額の補正予算計上だが、これまで何台配付されたのか伺う。

**答** 防災ラジオは平成30年度から配付を開始しており、これまでの配付台数は、市民への有償配付が約4500台、自治会などへの無償配付が約660台で、合計5200台弱となっている。

**問** 防災対策費の地震・津波防災対策事業について、非常用貯水タンク修繕料とはどのような内容で行うのか。また、目的について伺う。

**答** 市役所と総合公園にある非常用タンクの蓋を交換する予定である。この蓋は長年使用しているため錆もあり、重たく非常時に開けづらいため、軽く開けやすいものにし、スムーズに給水活動が行えるようにすることが目的である。

### 都市建設

議案8案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

#### ○議案第46号 平塚市都市公園条例の一部を改正する条例

**問** エントランス棟にコンビニエンスストアが設置されるが、設置に関する具体的な内容を伺う。

**答** コンビニエンスストアの設置については、本市が認定計画提出者である積水ハウス株式会社に対して管理許可を出し、認定計画提出者がコンビニエンスストアと契約することになる。

**問** 特定公園施設にするのか公募対象公園施設にするかは、どこで線引きをしているのか伺う。

**答** 特定公園施設と公募対象公園施設の違いについてだが、認定計画提出者によって設置されるパーベキュー棟とマルシェ棟は民間で作る施設のため、公募対象公園施設となる。エントランス棟に設置されるコンビニエンスストアについては、あくまでも市が設置する津波避難施設の空きスペースを使用するため、特定公園施設の扱いとなる。

### 教育民生

議案1案件は原案どおり可決すべきもの、請願1件は採択すべきものと決定しました。

#### ○議案第53号 令和6年度平塚市一般会計補正予算

**問** 図書館費の中央図書館管理事業について、改修工事前にアスベスト調査を行うとのことだが、どのような方法で調査を行うのか伺う。

**答** 設計図面などによる書面調査と、目視などによる現地調査の2段階で行われる。この結果を受けて検体数などを調べ、必要な検体を採取して分析調査に入る流れと聞いている。

**問** 中央図書館の改修工事に伴うアスベスト調査の期間と、調査中の図書館利用について伺う。

**答** 検体数や建材の種類などで異なる場合もあるが、通常、事前調査は2週間から1か月程度と考えている。図書館利用への影響は、サンプリングなどの採取は限られた場所と短時間で行うため、この調査による図書館利用への影響はないと考えている。

### 環境厚生

議案4案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

#### ○議案第53号 令和6年度平塚市一般会計補正予算

**問** 児童保育費の児童手当事業について、子ども・子育て支援法の一部を改正する法律が国会で成立し、児童手当の抜本的拡充がされていく。所得制限の撤廃や対象が高校生までになること、第3子の支給が3万円になるなど大きな変化がある。所得制限が撤廃され支給対象者が高校生までとなることで増加する支給対象者数を伺う。

**答** 令和6年2月時点の支給対象者は、子どもの数で2万7932人、制度改正に伴い対象者数全体では5790名程度の増員となる。高校生年代の対象人数は3470人程度を見込んでいる。

**問** 本市のさまざまな子育て支援などをチラシなどで分かりやすく周知し、少子化対策へ繋げることについて見解を伺う。

**答** 分かりやすいホームページやチラシを通したアピールを検討していきたい。